

令和元年8月

# 鳥警協ニュース

令和元年特別号



(一社) 鳥取県警備業協会

## 警備業経営者研修会並びに第16回安全大会の開催

8月23日(金)午後1時から県立倉吉体育文化会館において警備業経営者研修会・第16回安全衛生大会を開催した。

本研修会等には当協会の藤田泰史会長、田守博之副会長兼教育委員長及び林耕嗣業務委員長、また、会員27社30名が参加した。

① 開催日時、場所

令和元年8月23日(金) 午後1時から午後4時45分  
倉吉市体育文化会館

② 出席者 会員事業者 27社 30名が参加

③ 藤田会長挨拶



本日、令和元年度、経営者研修会、並びに第16回安全衛生大会を開催しましたところ、皆様には、ご多用の中、多数ご出席頂き有難うございます。皆様には平素から適正な警備業務と労働災害の防止に率先して取り組んでおられることに対し、心より感謝申し上げます。

本日は、大変忙しい中、我々警備業を営む者に対して欠かすことの出来ない事を指導して頂きたいと、鳥取労働局様、鳥取税務署様及び鳥取県警察本部生活環境課様、並びに株式会社太陽様より講師をお招きし、我々、警備業界においても有益となるご講話及びご指導等をしていただくことになっております。

また、今回の経営者研修会・安全衛生大会が実りある事を祈願しております。

さて、本年は激動の30年といわれた平成が終わり、令和という新時代に入りました。時代が変わりましたが、我々の警備業界を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。中でも大きな問題が、少子高齢化による生産人口の減少を背景とした「警備員不足問題」であります。これらの問題解決には、適正な警備料金を確保し、警備員の処遇改善を図る必要があります。そのためにも全国警備業協会が策定した「警備業における適正取引推進等に向けた自主行動計画」を当協会でも推進しており、その一環として秋には鳥取県との意見交換会も計画しているところであります。

その他にも、働き方改革の問題、悪質なダンプの是正、防災対策の推進など、課題はまだありますが、解決のため、ご協力をお願いします。

終わりとなりましたが、事業者皆様をはじめ警備業に携わる皆様方の暮らしが今まで以上によくなるように頑張っていきたいと思っておりますので、さらなるご協力をお願いいたしますとともに、警備業界の益々の発展と事業者皆様のご健勝を祈念致しまして挨拶と致します。

#### ④ 講演

本年度の研修では、今年4月1日から働き改革関連法の一部が施行されことから鳥取労働局職員から「働き方改革の推進」について、また、今年10月1日から、消費税及び地方消費税が8%から10%と引き上げられ、この税率引き上げと同時に消費税の軽減税率制度が実施されることから「改正消費税」について倉吉税務署職員からも時の話題を講演をしていただきました。

また、警備業法を所管している鳥取県警察本部生活環境課員から警備業に対する「事故防止等」について講演をしていただきました。

最後に、株式会社太陽よりパソコンを活用した我々の警備業界での事務処理の簡素化・効率化を図る目的で開発されたソフトウェアについて「手書き日報からの脱却その先に見えるもの」と題してプレゼンテーションをしていただきました。

1	「働き方改革の推進について」 ○ 働き方改革とは ○ 時間外労働の上限規制 ○ 年5日の年次有給休暇の確実な取得 等 講師 鳥取労働局職員
2	「まもなくはじまる改正消費税について」 ○ 軽減税率について ○ 消費税率等に関する経過措置について 等 講師 倉吉税務署職員
3	「事故防止について」 講師 鳥取県警察本部生活環境課員
4	「手書き日報から脱却 その先に見えるもの」 講師 株式会社 太陽



研修会の状況



鳥取労働局講演



警察講演



倉吉税務署講演

⑤ 第16回安全衛生大会

安全衛生大会の冒頭、今年3月、米子市内において交通誘導中に亡くなられて警備員に対し、謹んで哀悼の意を表し、出席者全員で黙祷を捧げた。

続いて、募集した労働災害防止標語、応募総数10社55点を協会役員により選考し、入選作について表彰を行った。

標語入賞者	
最優秀	「見たつもり 言ったつもりが事故の元 安全確認・ゼロ災害」 ----- (有) アトラス警備保障 高見 啓太
優秀	「たぶんそう。確かにそうは、きっとちゃう！」 ----- 山陰警備保障(株) 磯見 雅人
秀作	「安全は 日々意識の 積み重ね」 ----- 鳥取警備保障(株) 坂上 敏正

表彰式



最優秀受賞 アトラス 高見特別講習講師

## ○大会宣言

業務委員長林耕嗣が大会宣言を読み上げ、全会一致で採択。

我々警備業界における労働災害は、全国的に全産業の労働災害による死亡者数が減少傾向にあるにも関わらず、未だに死亡事故、重篤事故が多発している。また、今年3月、鳥取県内においても交通誘導警備業務中における交通死亡事故が発生するなど、極めて憂慮すべき状況にある。警備業界における労働災害は、全国的に交通誘導警備業務中における交通事故を中心とした死亡事故、重篤事故が多発しており、極めて憂慮すべき状況にある。

このため経営トップの強いリーダーシップの下、関係する全ての者がその役割を果たし、取り組みを継続することが重要である。

警備業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあるが、我々は創意工夫をもってこの困難な状況を打開し、心身ともに健康で誰もが安心して働くことの出来る安全で明るい職場づくりに向けて、全力を挙げて邁進することをここに誓う。

右 宣言する。

令和元年8月23日

鳥取県警備業協会

業務委員長 林 耕嗣

